

「学部横断型課題解決プロジェクト」最終報告会 7/8(土)開催 —企業が直面する社会課題に提案・発表—

武蔵大学（東京都練馬区／学長 高橋徳行）は、2023年度春学期「学部横断型課題解決プロジェクト」（通称：学部横断型ゼミナール・プロジェクト）の最終報告会を7月8日（土）に開催いたします。2008年度に正規科目となってから、16年目を迎える今年度は春学期・秋学期ともに1クラスずつ開講しており、今年度春学期は、2～3年次生20名が履修しています。最終報告会では、履修生同士の議論や課題提供企業との話し合いの中で、課題提供企業が果たしている社会的な役割や貢献を、社会課題（サステナビリティ課題）という観点からとらえて整理した内容を小冊子にまとめ、企業の方や聴講者に提示します。その社会課題に対して、私たちの未来をどう創っていくのか課題提供企業を通じて提案を考え、発表します。

最終報告会は、本学会場およびオンライン配信のハイブリッド方式で開催し、高校生や一般の方にも公開しております。ぜひご聴講ください。

「学部横断型課題解決プロジェクト」最終報告会

異なる学部の学生が一つのチームを作り、企業の協力を得て各学部の専門知識を活用し、かつ融合し、ディスカッションを重ねながら企業が直面する社会課題への提案を考えます。今回はお好みソースで知られる**オタフクソース(株)**や酢の製造を行う**お多福醸造(株)**など調味料の総合メーカーを傘下に置く「お多福グループ」の事業統括会社**オタフクホールディングス(株)**にご協力いただきました。最終報告会では、企業担当者や一般の聴講者に、どんなプロセスで、どんな議論と調査を経て提案を完成させたのかを発表します。是非、ご聴講ください。

概要

日時：2023年7月8日（土） 13時30分～15時40分 ※事前予約不要・入退場自由

会場：1101教室(1号館1階)

発表者：武蔵大学 学部横断型課題解決プロジェクト履修生

担当教員：笠原一絵経済学部助教、永田浩三社会学部教授

スケジュール

13時30分～13時35分 開会・来賓のご紹介

13時35分～13時50分 担当教員によるプロジェクトの概要説明

13時50分～13時55分 学内関係者挨拶

14時00分～14時40分 Bチーム発表

14時40分～14時50分 休憩

14時50分～15時30分 Aチーム発表

15時30分～15時40分 全体の講評

*各チームの発表時間は30分、質疑応答・学生からのコメントが10分となります。

*進行によっては、多少時間が前後する場合がございますので、ご了承ください。

*オンライン会場にてご出席の場合は、録画・画面保存はご遠慮ください。

オンライン(Zoom)による参加をご希望の方はこちら

https://www.musashi.ac.jp/education/seminar/seminar_project/application.html



2022年度春学期最終報告会の様子



2022年度の履修生が作成した報告書

—報道関係者問い合わせ先—

武蔵大学 広報室 担当：増田・西（ますだ・にし）

TEL：03-5984-3813 FAX：03-5984-3727 E-mail：pubq-r@sec.musashi.ac.jp

■ 武蔵大学 日本で初めてリベラルアーツ教育を行った旧制高等学校がルーツ

〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立七年制の旧制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。一年次から4年間のゼミナール（小規模で対話型の授業を含む）が必修で「ゼミの武蔵」といわれる。

2012年には、外国語や異文化を楽しみながら学ぶことのできる国際村 Musashi Communication Village（通称 MCV）を開設、キャンパス内留学の拠点とした。

2020年3月には、ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラムにおいて初のロンドン大学学位取得者を輩出、グローバル教育の更なる発展に力を注いでいる。

2022年4月、学園創立100周年を迎えたこの年に、新学部となる国際教養学部を開設し、経済、人文、社会、国際教養の4学部9学科となった。

学長 高橋 徳行 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1

